



MANOX

強風用 風向風速変換器

微弱な風 (0.6 m/s) からかなりの強風 (60 m/s) まで

強風用 光電風向・風速発信器 各 1 台を使用するタイプ

強風用の光電風向・風速発信器と接続して、アナログ信号を送出します。

汎用レコーダによる記録や「風速による制御」などに使用します。

出力信号は誤用をさけるために、固定レンジにしてあります。

気象庁検定に対応が可能です。



VF216



AF860

強風用 風向風速変換器 AVS-62C の仕様			
型 名	AVS-62C	指示計	80 × 65mm
風向発信器	VF216	台 数	1 台
風速発信器	AF860	台 数	1 台
方 位	540°	出 力	1V(50)
風速範囲	~ 60m/s	出 力	1V(50)
幅	260mm	奥行	205mm
高さ	100mm	重 さ	約 3.8kg
交流電源	AC100V	消費電力	5VA
直流電源	DC12V	消費電力	60mA
レスポンス H/M/L 選択			

風向風速変換器 AVS-62C



発信器と変換器とを 専用のケーブル (別売) で接続します。

消費電力は風向・風速発信器を接続した状態の値です。

風向は N- E- S- W- N- E- S の 540° を 1V で出力します。

指示器 (メータ) は 1 個ですが、風向と風速を切り替えて指示します。

3 種の平滑化回路 (回路定数で約 0.05 / 0.5 / 5 秒) があります。

風向と風速の両方が同時に切り替わります。

出力を電流型 (4 ~ 20mA) に改造することが可能です。(オプション)

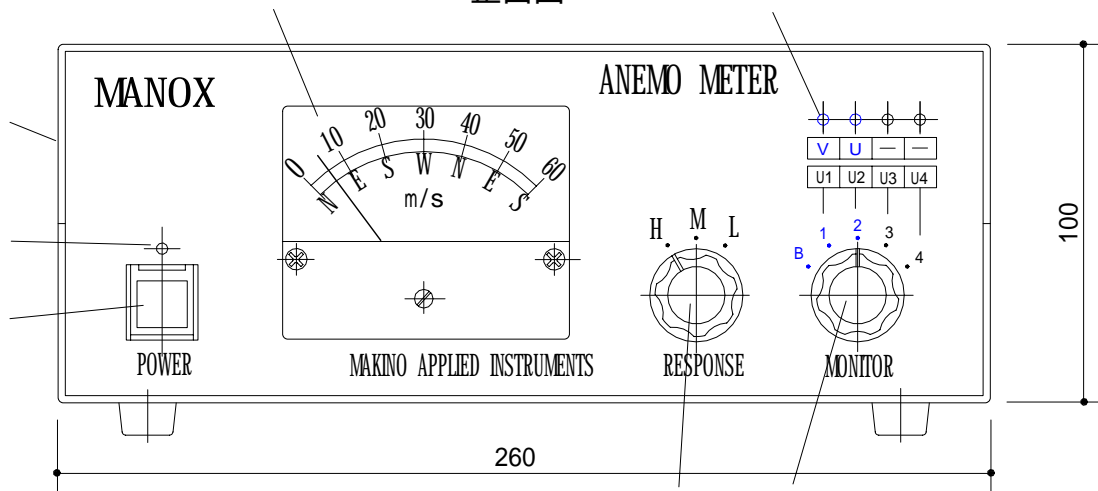
類似品に「微風用・汎用風用」があり、「微風用・汎用風用・強風用」のそれぞれに 風速 1 チャンネル型・風速 4 チャンネル型、風向風速型 があります。

落雷の危険が予想される場合や信号ケーブルを長くする必要がある場合にはご相談ください。 避雷回路・プリアンプ が有ります。

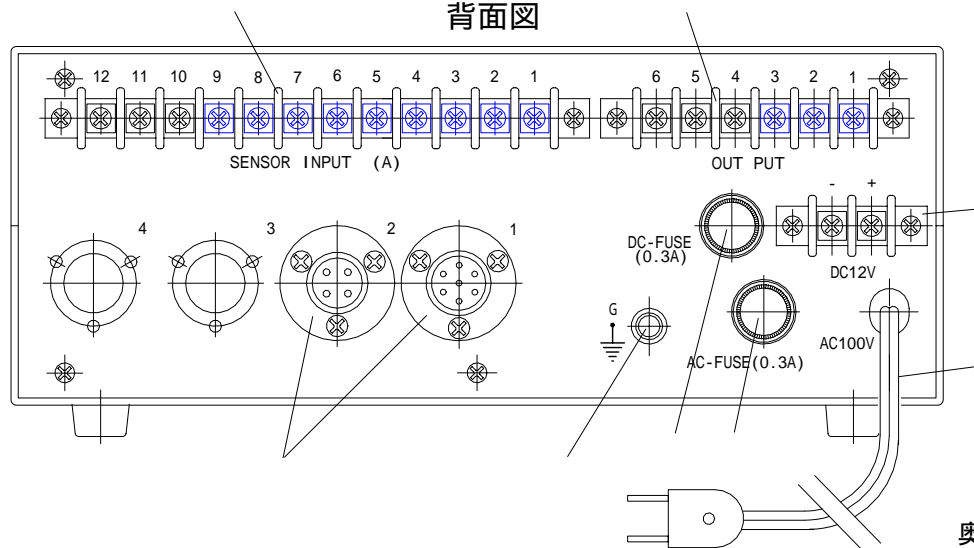
AVS - 62C 外観図・各部名称

AVS系の変換器には 対象とする風の強さにより「強風用・汎用風用・微風用」の3種があり、そのそれぞれに「風向・風速用」「風速1チャンネル用」「風速4チャンネル用」があり、総計9種類あります。 指示目盛板の内容・背面のコネクタの数 が異なるほかは外観は同じです。

正面図



背面図



奥行 205mm
重さ 約3.8Kg

品名貼り付け位置（側面）

電源スイッチ（AC100V・DC12V共用）

電源灯（赤色LED AC100V・DC12V共用）

指示器

時定数選択スイッチ

指示器のチャンネル選択スイッチ（B・1・2のみ有効）

入力チャンネル表示灯（赤色LED V・Uのみ有効）

AC100V 電源入力コード（長さ 約1.5m）

DC12V 電源入力端子

AC100V用 電源保護ヒューズ（0.3A）

DC12V用 電源保護ヒューズ（0.3A）

筐体グランド端子

データの出力端子（1・2・3のみ有効）

発信器からの入力端子（1～9のみ有効）

発信器からの入力用コネクタ 風向(7P) 風速(4P)

注記 と とは内部で接続状態にあり、何れかの一方を使用する事。